

セ ボ ネ

セトガヤ

ボランティア

ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2017.5 No.157

今月のトピック

特集●

地域で子どもを育てる「新寺子屋」

まちの市民力！ ● もみじの家

キラリ世田谷人 ● 新井 優和 さん



イラストレーション●横山 恵

イラストレーター。

世田谷を拠点に『街の木を活かすものづくりの会』（略称マチモノ）で活動しています。眺める木からみんなで楽しめる木に、世田谷から発信していきたいです。』

●わたしの世田谷

マチモノの活動を通して世田谷に関わり、とても温かい街だと実感しています。今回、このような形で関わらせていただき、改めて世田谷に歓迎されたような気がしてとても嬉しく思います。ありがとうございました。

地域で子どもを育てる「新寺子屋」

ちょうど1年ほど前、「地域の生活文化のDNAを伝える人」として、駒井澄子さんに「キラリ世田谷人」で登場していました。

長年「フレール西経堂」で自治会長、希望丘小学校の青少年委員を務め、団地の建て替え運動がきっかけで「老人給食」を始めるなど、地域の「歴史」のような存在の駒井さんでしたが、4月2日に84歳の生涯を閉じられました。

折しもこの特集で、地域での学習支援を取り上げようと「新寺子屋」の取材日程を決めた時に、駒井さんの突然の訃報を聞くことになったのです。謹んでお悔やみ申し上げます。

駒井さんが尽力されてきた希望丘小学校の「新寺子屋」の实践をご紹介します。



土曜日は「新寺子屋」へ

取材した4月8日は新1年生の保護者に向けた「新寺子屋」の説明会の日。希望丘小学校（以下希望丘小）のランチルームには、ピッカピカの1年生の父母たちが続々と集まってきました。新任の校長先生が「この学校の特色のひとつが新寺子屋というのは素晴らしいことです」と挨拶されたのち、新寺子屋の運営に携わる先生、スタッフが自己紹介。

かつて希望丘小で昭和55年から8年間教え、その後は区内小学校で校長先生を務められた、代表の矢後浩先生は、退職後の平成17年に「寺子屋」が創設されて以来、13年にわたって関わっておられま

す。矢後先生の右腕のような田中映子先生は、元希望丘小の校長先生。スタッフの方がたも、それぞれ子どもが希望丘小の寺子屋育ちだったり、現役のPTAで校外委員だったり、またここで育った大



新寺子屋の保護者説明会

学生もいます。12名全員がボランティアです。

「新寺子屋」が開かれるのは、授業日の第2土曜日を除く、学期中の毎週土曜日、10時から12時。年間で25回になります。矢後先生は保護者の方がたにむけて、「新寺子屋」のめざすものは何かを語られました。「ひとつ目は『学力の向上』です。月に3回の学習ですが、子どもたちには基礎的・基本的な学力をつけた。2番目は、『勉強の仕方』をわかってもらうこと。自分で勉強ができるように

なつてほしい。親御さんは『勉強しろ!』と言わないでいいですよ。3番目は『学習の習慣をつける』。土曜日は寺子屋へ、を合言葉にしてほしいですね」

地域ぐるみの「学習支援」

廻ること13年前、そもそもなぜ寺子屋のアイデアが出てきたのでしょうか。そこにはやはり駒井澄子さんが大きくかかわっていました。希望丘小で初代の青少年委員となり、遊び場開放に取り組みなど、学校や地域、子どもたちに常日頃から接してきた駒井さんから、当時、平均を下回っていた希望丘小の学力のレベルを上げるような補習をしてもらえないだろうかと相談があり、矢後先生はじめ、かつて希望丘小で教えていらした3人の先生たちが始めたのが「寺子屋」でした。「寺子屋」の名称も駒井さんがつけたとのこと。最初は6年生まで、人数も10人くら

い、と、まるで個人教授のようだったそうです。「1年から6年まで続けて来ていた子が今年、大学生になりました」と先生は感慨深げに振り返ります。

その後、希望丘小の「特色ある教育活動」と位置づけられ、「新寺子屋」と呼ばれるようになりました。この時から年会費10000円を活動維持費としていただいています。「まったく無料というのもなく「来たい」子どもが来るところですから。ひとりでも来れば、先生は来なくてはなりません。ボランティアにも責任が生じ、いい加減な運営はできませんよ。」と矢後先生。

自分で学習する意欲を育てる

学校の授業と寺子屋のちがいのひとつは「学習方法」。こういう問題ならこうやれば解けるとわか

ます。「こうやったらできる!」とわかると、「それまで何もやらなかった子が突然やり始めるんです。嬉しいですねえ」。学習への意欲につながるのでしょうか。

「これは大切に行っていることですが…」と矢後先生は続けます。「挨拶をしよう。整理整頓をしよう。正しい姿勢で話をする人の方を向いて聞こう、と子どもたちに言います。みんなが来たくて来ている場所なので、勝手にわあわあ騒ぐのなら来なくていいよ、と言っています」学習だけでなく、生活習慣の支援もする場となっています。



自然と生まれる助け合い

スタッフの中には、寺子屋育ちの大学生もいるし、お手伝いをしてくれる小学校高学年の子もいます。「寺子屋を卒業した子にとっては、手伝いをするので勉強になります。答え合わせをしてくれるかい?」と頼むと、自分で復習するチャンスにもなりますね」と先生。子どもスタッフを募集するようになって4年。10人前後の「助手」たちが当番制で関わります。「段取りがわかっているの、すぐく助かります」とスタッフ。

4月15日は、小学2〜3年の寺子屋スタートの日。今年の2年生は29人。3年生は7人とちよつと少なめ。高学年の子どもたちの姿もあり、8人のお手伝いです。寺子屋に通い、そのまま「小さい先生」になる子が多いようです。算数の計算や、漢字の学習などで、困っている子どもたちにそつと手を差し伸べています。「誰かのた

めになにかをする」というボランティアが自然と育っていきます。

参加希望者が増えてきたため、「区のおしらせ」で、経験者を募集したところ、4人が応募されました。2月からスタッフとして関わる萩原さんは「とても新鮮な経験ですよ。音読で、最初は口を開けなかつた子が開けるようになるんです。算数に高学年の子どもが入ると、わかりやすく教えてくれるんですね。もうひとりの新人スタッフの豊島さんは「今は親が叱りませんが、愛情を持って言え



お兄さん・お姉さんスタッフも活躍

ば大丈夫ですよ、と伝えたいです」といいます。保護者には当番として通年お手伝いを呼びかけています。親たちにとっては、地域の人たちとつながるいい機会ともなります。

子どもを中心に、学校や地域の人たちが関われるこのような「寺子屋」が区内や都内にもつと増えたらと思いますが、実際にはなかなか難しいようです。ボランティアとしてここまで関わるのはかなりの覚悟が必要です。自分の子どものために熱心な親は多いですが、地域の他の子どもたちと同じようにできる大人たちがどれくらいいるか。やはり問われるのは「地域の中で育て、育つ」という「地域力」なのでしょう。どの学年も単学級で、サッカーチームもつくれなかつた時期に、希望丘小に入ってきてほしい、と駒井さんをはじめ地域の人たちが願い、動き出した意味は大きかったと思います。

何気なく見守る力

「新寺子屋」の事務局スタッフで、他にも「遊び場開放委員」や「船橋小径の会」など地域に幅広く関わる和久井直美さん。「子ども6人に1人が貧困家庭と言われる時代。学習支援というと、塾に行かせられない生活困窮家庭が主な対象になる印象がありますけれど？」と和久井さんに訊ねてみました。

「寺子屋はあくまでも学校の勉強の補習なので、募集は全児童が対象です。でも、家族環境が複雑な子もいたりして、ひよつとしたら大変なんだろうなあ、と思わされることはあります。寺子屋に入る時には何の条件もありませんが、子どもと接している過程で、親のネグレクト(育児放棄)が心配されるケースが見えたりもします。周りがなんとなく気にかけながら、その子のことや家庭を見守り、少しでも状況が改善できたら



新寺子屋を支える運営委員のメンバー

というものでしょうか」

子どもや家庭が孤立することを放っておかず、かといって干渉せずに、なにげなく見守り、必要な時にはスツと手を差し伸べるといふ、希望丘小を巡る「地域力」には駒井さんのDNAが受け継がれています。和久井さんのように、駒井さんとともに活動をする中から、PTAでの役割や青少年地区委員などを務め、その親の背中を見て育った子どもたちが次世代を担う、という人材がこの地域には何人もいます。和久井さんの次女で大学生の聡美さんは「新寺子屋」

のスタッフ。「母親があんまりアタフタと走り回っているのだから、見かねて」手伝うようになったとか。

駒井さんの蒔いた種が
大きく育つ

だんだんと桜がほころび始めた4月初め、駒井さんは、桜とともに、地域で活動を共にしてきた次の世代のたくさんの人たちに見送られました。晩年は目が不自由で、さまざまところで請われて話に赴く駒井さんには、いつも「後継者」たちが手足となつて付き添いました。祭壇に飾られた遺影は少し若い時の意志の強そうなキリッとしたお顔でした。駒井さんに乗せた車とお別れする時に、参列者の間から起こった「駒井さん、ありがとう！」の声は、「後は任せておいてくださいいね！」の決意のように聞こえました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(取材／編集委員 星野弥生)



重い病気を持つ子どもと家族を支える

もみじの家

まちの

市民力!!

取材・事務局

●
街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します

もご家族も安心して、ホッとくつろぐことができます。ケアスタッフは看護師の他、保育士や介護福祉士が手

厚くサポートし、今では1日平均5〜6名が利用しています。

大蔵の国立成育医療研究センターの敷地内にある「もみじの家」は重い病気をもつ子どもと家族のための短期入所施設です。昨年4月の開設から早1年、もみじの家を訪ねてお話をうかがいました。医療の進歩により、救えるようになった命が増えると同時に、医療的ケアが必要な子どもが増えているのをご存知でしょうか。退院後は家族、特にお母さんが在宅で24時間ケアすることになり、ゆつくり休む間もなく厳しい毎日直面しています。もみじの家では、そんな親子をサポートするため、経管栄養や人工呼吸器など医療的ケアはスタッフが代わりに、ここに滞在する数日間はお子さん

「もみじの家にとつて、ボランティアは大事なパートナー。日々の活動をさりげなく支えてくれています」とハウスマネージャーの内多勝康さんはいいます。ボランティアの登録は現在93名。1階の受付を訪ねるとエプロンをした2人のボランティアがにこやかにお出迎え。家庭的な雰囲気、訪れる人を和ませてくれます。2階の広々としたプレイルームでは、子どもが自由に遊ぶことができ、ボランティアが読み聞かせをしたり、お子さんやきょうだいの遊びのサポートなどを行っています。医療的ケアが必要な子どもと家

族は外出もままならず、地域から孤立しやすいため、ボランティアとのつながりはいわば社会との接点です。子どもと直接かわっているボランティアは「お子さんが私に慣れてきて、ニコッと笑ってくれると受け入れてもらえた、とうれしくなります」と話します。医療関係者だけでなく、なるべく多くの人と触れあうことで子どもは社会性を身につけるのです。地域や社会とのパイプ役となつて、外部の空気を施設に運んできた、施設の中のことを社会に伝えてくれる役割がボランティアにはあります。

5月13日にはボランティア説明会が開催されます。利用者が増え、ボランティアの力も今以上に必要となり、新たにナイトボランティア（有資格者などの条件あり）も募集することになりました。資格不要の活動もありますので、まずは説明会に参加されてみてはいかがでしょうか。



ボランティアの魅力を伝えたい

新井 優和 さん
あらい まさかず

この春、駒澤大学を卒業した、新井優和さん。学生の核となつてボランティアセンターのさまざまな事業で活躍し、支えてくれました。この4年間を振り返りながら改めてお話をうかがいました。

「母が介護施設の職員だったので、小中学生の頃から学校の周りを掃除したり老人ホームに行ったり、あまり意識せずに身のまわりがありました」と、ボランティアとの出会いはごく自然。大学ではボランティアサークルや手話サークルに入り、活動の幅を広げてきました。

活動のなかでたまたま知った、他大学のボランティアセンターの

や せた人が キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方を
ご紹介します
取材●事務局

スタッフとの出会いがひとつの転機になりました。ボランティアについてとても楽しそうに話しているのを見て、ボランティアのおもしろさや楽しさを伝えることで、関心の低い学生も巻き込み、ボランティアの裾野を広げていく姿がカッコよく映り、「自分のこれまでの経験を生かして、もつと人にボランティアの楽しさを伝えていきたい」と思うようになりました。

埼玉で行われていた学生ネットワーク会議にも参加し、大学の枠をこえて学生が集まるのを目の当たりにして、とても刺激を受けたといいます。「こんなつながりを世田谷でもつくりたい!」と、大学2年生の頃、他大学の学生とともに、学生ネットワークをつくりました。「自分もいろんなボラ

ンティアを知りたいと思ったし、もつといろんな人に知ってほしいと思つて」と、区内の大学で『ボランティア学生交流会』を開催し、多様な活動を伝え合う機会をつくりました。ボランティアに興味のある学生が口コミで集まつて情報交換したり、交流を深め、「お祭りとか地域の人に直接出会える活動もたくさんあつて、ボランティアの幅が広がった」といいます。そして、その熱意は、さらに全国へ。毎年3月に行われる「全国学生ボランティアフォーラム」の実行委員にもなり、ここに書ききれないくらいの活動実績が高く評価され、卒業式では大学から「学長奨励賞」が授与されました。

社会人として新たな一歩を歩み始めた新井さんは、後輩たちにむけて「いろんな人に出会つてほしい。自分も人との出会いで大きく変わったから。まずは会ってみる、そこからきつと世界が広がっていくはず」とメッセージを送ります。

*沿線別にイベントやボランティア情報を入れています。
詳細はP10～15をご覧ください。

春の代田ビューローバザー

6/2 (金) 10時半～14時
6/3 (土) 10時半～13時半
代田ボランティアビューロー P12

「気軽にボランティアの会」

7/1 (土) 13時半～16時
代田ボランティアビューロー P15

ろう不登校 part213

土) 14時～
スペースBe! P14

●小田急線沿線

- ☆「もみじの家」ボランティア説明会 詳細 P10
- ☆中1女子の学習支援ボランティア募集 詳細 P10
- ☆パソコンの質問に答えてくださる方募集 詳細 P11
- ☆国立成育医療研究センターボランティア募集 詳細 P11
- ☆音訳ボランティア募集 詳細 P12
- ☆代田ビューローバザーボランティア募集 詳細 P12

失語症カフェ

26 (金) 13時50分～15時30分
梅丘ボランティアビューロー P14

いの家チャリティバザー

23～25 世田谷区民会館
少年とともに歩む会 P14

せたがやチャイルドライン 受け手養成公開講座

6/2～7/15 金曜または土曜 全9回
世田谷ボランティアセンター P14

NPO・市民活動相談

事前にお問合せください。
世田谷ボランティアセンター P15

傾聴ボランティア入門講座 (全3回)

5/31～6/14 毎週水曜 13時半～16時
玉川ボランティアビューロー P15



OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

● 京王線沿線

- ☆ 烏山バザーボランティア募集 詳細 P10
- ☆ 精神障害者の当事者の会のサポーター募集 詳細 P10

烏山もったいないバザール
5/14 (日) 10時～15時半
烏山区民センター前広場
世田谷ボランティア協会 P10

● 世田谷線沿線

- ☆ ママレードづくりお手伝い募集 詳細 P11

「多言語教育」講演会
5/22、25、6/2 午前
北沢タウンホール集会室など
NPO法人多言語広場 CELULAS P13

● 東急線沿線

- ☆ 小3女子の送迎ボランティア募集 詳細 P10
- ☆ 「CoCo Cafe (ココ・カフェ)」サポーター募集 詳細 P11
- ☆ 車いす男性の介助ボランティア募集 詳細 P12
- ☆ 60代女性の介助をしてくださる方募集 (有償) 詳細 P12
- ☆ 人形劇グループメンバー募集 詳細 P13
- ☆ なかまち NPO センター事務所利用団体募集 詳細 P13

- 京 京王線沿線
- 小 小田急線沿線
- 世 世田谷線沿線
- 東 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安には是非ご利用ください。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

ボランティア求む

京 烏山バザー ボランティア募集

烏山を中心に活動するNPO団体や福祉施設などが出店する、「烏山もつたいないバザール」を手伝ってくださる方を募集しています。テントの設営や机の移動、売り子などのご協力お願いします。

17時の間でご相談
場所/烏山区民センター前広場
交通/千歳烏山駅徒歩1分
問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関
TEL 5712・5101
inazeki@otagisanam.or.jp

小 「もみじの家」ボランティア募集説明会

重い病気を持つ子どもと家族のための医療型短期入所施設「もみじの家」のボランティアとして、一緒に支えていただける方を募集いたします。ボランティア説明会を開催しますので、ご希望の方はホームページで活動条件と活動内容をご覧ください。説明会にご出席ください。

●日時/5月13日(土) 14時～
●場所/国立成育医療研究センター 1階 講堂
●交通/成城学園前駅からバス
●募集人数/①受付:ご案内15名
②ハウスキーパー20名、③ゲス

トサポート20名、④ナイトボランティア30名程度
●条件/月2回、1回2時間以上の活動が1年を通じてできる方。心身ともに健康な18才以上の方。
④は有資格者のみ。詳細はホームページをご覧ください。
●申込み/ホームページを確認のうえ、説明会への参加希望はメールで申込みください。
●申込締切/5月7日(日) 必着
●問合せ/もみじの家 担当 植田 TEL 5494・7135
<http://home-from-home.jp>
nomiivolunteer@gmail.com

東 小3女子の特別支援学級への送迎ボランティア募集

小学3年生の女子が小学校へ通う際の送迎をして下さる方を求めています。現在は祖母が送迎していますが、だんだん大変になってきました。おとなしい、歌が好きなお女の子です。週1回でもお手伝いしていただけたら助かります。

●日時/火曜日 行きは7時45分～8時半頃、帰りは17時
●行程/自宅(深沢5丁目)からバス乗り継ぎ↓徒歩5分↓校町小学校、帰りは学校↓自宅
●条件/お近くにお住まいの方、男女不問
●問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528

小 中1女子の学習支援ボランティア募集

脳性まひのある中学1年生の女の子が、自宅で宿題やテスト勉強など教えてくださる方を探しています。人見知りもなく、明るい女の子です。小学校のおさらいから一緒に楽しく教えてくださる方をお待ちしております。詳しくは、お問合せください。

●日時/水曜日夕方、または土曜日(午前か午後)、月1回/応相談
●交通/成城学園駅徒歩15分
●条件/交通費支給。性別不問。
●問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528

京 精神障害者の当事者の会のサポーター募集

精神障害者の当事者の会アドジャストでは、会の運営のサポートをしてくださる方を探しています。アドジャストは月1回、烏山区民センターなどで当事者と、当事者の家族、専門家の方などが集まり、日ごろの不安や悩みなどを話し合う会を開催しています。会の書記、チラシや入会案内な

どの作成・印刷、問い合わせのメールの対応等をサポートをしてくださる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。
●日時/会合は月1回程度(不定期開催)
●問合せ/アドジャスト 担当 猪俣
080・9413・3454



パソコンの質問に答えてくださる方募集

脳梗塞で倒れ、昨年9月から今年1月まで入院していた70代の男性が、リハビリを兼ねてパソコンを自習しています。わからないことがあると、ノートに書き留め、周囲の人に聞いて教えてもらいますが、なかなか思うように解決できないことがあります。男性の自宅を訪問して、1時間ほどパソコンの質問に答えてくださる方を募集しています。お近くにお住まいの方、よろしくお願いたします。



東世 ママレードづくり お手伝い募集

NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウエーブは、「誰もが安心して住み続けられる地域づくり」をめざして活動しています。ウエーブでは、区内のあちこちから夏みかんをご寄付いただき、毎年この時期にママレードをつくり、活動資金の一部にさせていただきます。今年も作業を行いますので、お手伝いしてくださる方を募集します。短時間でもけっこうです。おひとりでも多くの方がお手

●日時/週1、2回からご相談。月1回でも助かります。時間は応相談。月(14時以降)、火・木(15時以降)、土日は終日可。

●場所/祖師ヶ谷大蔵

●交通/祖師ヶ谷大蔵駅徒歩10分

●募集人数/1〜2名(性別不問)

●問合せ/梅丘ボランティアビュー

ロー

TEL 34200・25200

urneboraa@otagaisama.or.jp

伝いくださると助かります。よろしくお願いたします。

なお、お手伝いくださった方にはママレードを1個お持ち帰りいただけます。

●日時/5月5日(金祝)、19日(金)、25日(木)、29日(月) 10時〜15時頃

●場所/弦巻区民センター調理室
●申込み・問合せ/特定非営利活動法人コミュニティ・ネットワーク・ウエーブ 担当 一宮 070・54457・7781



東 Cocco Cafe (ココ・カフェ) サポーター募集

「ココ・カフェ」は、発達障がい者を支援するボランティアグループです。カフェの運営を支援するボランティアを募集しています。支援内容は、当日の会場設営、茶菓及び展示の準備、来訪者との傾聴的コミュニケーション、後片付け等です。

●日時/毎月第2金曜日、12時半〜17時



国立成育医療研究センターのボランティア募集

成育医療研究センターは主に小児が対象の医療機関です。外来ガイド、休日救急のガイド、病棟シッティング、図書、シヨップ、園芸などを行っています。詳細はホームページをご覧ください。

●日時/6月21日(水) 13時半〜16時

●場所/玉川ボランティアビューロー

●交通/二子玉川駅徒歩5分

●条件/成人期の発達障がいの特徴をもつ人への基本理解と傾聴意欲のある方

●問合せ/玉川ボランティアビュー

ロー

TEL 3707・3528

●場所/国立成育医療研究センター 1階 講堂

●条件/18歳以上で心身ともに健康な方(但し、学生は原則不可)

●問合せ/成育医療研究センター

ボランティアの会事務局

TEL 3416・0181



音訳ボランティア募集

世田谷録音奉仕グループひびきは、梅丘で39年間、視覚障害者のための録音図書を作り続けています。デジタル録音、デジター編集など一緒に活動して下さる方を募集しています。興味、関心のある方は、ぜひお問合せください。

●日時/例会は毎月第1、第3火

曜日の午前中(作業によっては午後もあり)

●場所/梅丘ボランティアビュー

ロー(録音、編集作業は自宅)

●年会費/1000円

●問合せ/梅丘ボランティアビュー

ロー

TEL 34200・25200

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。6月号掲載は5月10日(水)に締め切ります。



代田ビューローバザーボランティア募集

今年も恒例の「春の代田ビューローバザー」を行います。掘り出し物も、素敵な出会いもたくさん！ぜひ皆さまのご来場をお待ちしています。お買い物で、地域のボランティア活動をささえるお手伝いをよろしくお願ひします。地域の皆さまからご提供いただいた品物を販売し、地域のボランティア活動推進のための費用とさせていただきます。

- 事前の値付作業から当日まで、たくさんボランティアの力で成り立っています。ぜひお気軽にお問い合わせください。
- 提供品受付期間／5月13日(土) 20時(土)10時～16時半 (日曜休館)
- 受付できるもの／春夏物衣料(洗濯済みで新品に近いもの)、贈答品、着物、バッグ、アクセサリ、食器など
- 受付できないもの／紳士背広、電化製品、家具、布団、書籍、おもちゃ、ぬいぐるみ、景品、食品

- 今年も恒例の「春の代田ビューローバザー」を行います。掘り出し物も、素敵な出会いもたくさん！ぜひ皆さまのご来場をお待ちしています。お買い物で、地域のボランティア活動をささえるお手伝いをよろしくお願ひします。地域の皆さまからご提供いただいた品物を販売し、地域のボランティア活動推進のための費用とさせていただきます。
- 新品に近い物をお願いします。判断に迷ったらお問い合わせください。秋冬物衣料は次回10月に受け付けます。
- ボランティア募集／①値付け作業(提供された品物に値段をつける作業です)5月23日(火)～6月1日(木)10時半～12時、13時～15時(午前のみ、午後のみでもOK)
- ②バザー当日6月2日(金)、3日(土)9時半～15時の間で応相談。ボランティアさんによる美味しいまかない付き
- バザー日時／6月2日(金)10時半～14時、3日(土)10時半～13時半
- 場所／代田ボランティアビューロー ※駐車場・駐輪場はあります。
- 交通／世田谷代田駅南口すぐ
- 募集人数／①値付け：各日10名、②バザー当日：各日20名
- 問合せ／代田ボランティアビューロー
TEL 3419・4545
databor@otagaisama.or.jp

車いす男性の介助ボランティア募集

二子玉川のオフィスビルに勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助(パッド交換)のボランティアを探しています。現在、複数名でサポートしていますが、火曜・水曜を担当していただける方(頻度は応相談)を求めています。介助経験のある方もない方も、まずはお問い合わせください。

- 日時／火曜・水曜、どちらか1日でも可。12時40分～13時
- 場所／二子玉川駅徒歩2分
- 募集人数／1～2名
- 条件／年齢・資格不問。交通費応相談。
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528

有償スタッフ募集

日曜日の午後にご介助をして下さる方募集

宇奈根2丁目に住む脳性麻痺のある60歳の女性の方が、日曜日の午後にご介助をして下さる方を探しています。語学に堪能で、仕事の傍ら、車を運転して出かけタイピングされたりしていました。以前は歩くことや食べることができましたが、春に手術をし、10月に退院をしからは困難になってしまいました。今更にはリハビリをしています。言語障害もあり、コミュニケーションにも苦労しています。

日の午後にご介助をして下さる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。

- 日時／日曜日 12時～16時頃 (他の曜日の夜間も募集中)
- 場所／宇奈根2丁目のご自宅
- 条件／時給1000円、60歳未満の女性。重度訪問介護の資格のある方(ない方は資格取得の費用をサポートします)、経験は問いません。
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

平日の昼間は自宅で仕事をされ、ヘルパーさんのサポートを得ながら生活していますが、日曜

講座・その他・募集

東 人形劇グループ「ビビデバビデ（仮）」 メンバー募集

NHKなどで長年人形劇に関わられてきた星野さんが「人形劇は観るのも面白いけど、演じるのも楽しいのよ」とボランティアセンターに相談に来られました。そこで、人形劇のグループをつくって、人形作りをしたり、稽古をしながら子どもたちに観てもらえる活動をしていきたいと思います。

身近にあるもので人形にする工夫、子どもを別世界に引きこむ演出の工夫、わくわくさせる動きの工夫を考え、人形劇の楽しさを味わってほしいです。

●日時／5月26日（金）18時半会

わいながら、いっしょに活動しませんか？

●日時／毎週土曜日 10時～12時
●場所／世田谷ボランティアセンター 会議室

●募集人数／6人程度
●会費／月500円（入会時別途1000円）人形をつくったりする材料代に充てます

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

ドキュメンタリー映画「Stat Line」上映会

この作品は耳が聞こえないために周囲とのコミュニケーションをとることが苦手な今村彩子監督が、実のお母さんの死から立ち直るきっかけにしようと、沖縄から北海道・宗谷岬までの57日間の旅で出会った人々や出来事を映したドキュメンタリー映画です。ひとりでも多くの方に観ていただけたらすよ、ご案内いたします。

●場、19時開演
●場所／武蔵野スイングホール（武蔵野市境2-14-1）
●交通／JR中央線武蔵境駅 徒歩2分
●料金／前売り一般1000円 学生700円（当日はプラス200円）、全席自由
●問合せ／ボランティアステーション
04222・28・7728

東 なかまちNPOセンター 事務所利用団体募集

なかまちNPOセンターでは、事務所スペースの貸し出しや、地域の様々な活動に利用できる共有スペースの貸し出し等を行なっています。

現在、事務所スペース（広さ約13平米）として1部屋空きがあります。入居及びシェアオフィス利用申込をする際には、事前の面談等が必要になります。見学可能です。家賃等、詳しくはお問い合わせください。

●利用期限／最長で平成32年3月末まで
●場所／なかまちNPOセンター（世田谷区中町2-21-12）
●交通／上野毛駅徒歩8分
●条件／非営利で公益的な活動を行うNPO法人等
●問合せ／なかまちNPOセンター事務局
070・55966・5803
npo@naih.or.jp

小 京 グローバル社会を豊かに生きるための「多言語教育」講演会

《世界に通じる力を育てる》

講演会の主な内容は★グローバル社会が求める人材 ★英語学習、失敗のわけは ★人と向きあうと、ことは通じる ★コミュニケーション力は家庭から ★違いは大切な宝物、多様性を受け入れ対応できる人材とは、など。地域の皆さま、学生・社会人の方の参加も大歓迎です。

●日時・場所／①5月22日（月）9時45分～11時45分 北沢タウ

ンホール2階 第1集会室
②5月25日（木）10時半～12時半 経堂すずらん会館 ③6月2日（金）9時45分～11時45分 烏山区民会館3階 集会室
●参加費／無料（要申込み。託児あり要申込み）
●申込み・問合せ／NPO法人多言語広場（ヒアザ）HIALS（セルラス）
TEL 50033・82002
http://www.celulas.or.jp/

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

小 第1回「失語症カフェ」

脳卒中や頭部のケガなどで言葉が不自由になることがあり、それが「失語症」です。失語症の方々の会話をサポートするボランティアを「失語症会話パートナー」といいます。

この「失語症カフェ」では、会話パートナーが失語症の方々と一緒にこなっている活動をご紹介します。失語症に関心のある方は、どなたでもお越しください。おいしいコーヒーを飲みながらゆったりお話しませんか。ご近所の皆さま

ま、ぜひお越しください！

- 日時/5月26日(金) 13時50分～15時半(入退室自由)
- 場所/梅丘ボランティアアビュロイ 2階集會室(エレベーターがないため、階段でおあがりください)
- 交通/梅ヶ丘駅徒歩5分
- 募集人数/定員15名
- 参加費/300円(茶菓子代)
- 問合せ/梅丘ボランティアアビュロイ

TEL 3420・2520

世 自立を目指す子どもたちのために「憩いの家」チャリティバザー

事情があって家庭では暮らせない10代の子どもたち(概ね15歳～19歳)が、働いて自立を目指す、自立援助ホーム「憩いの家」では、バザーを開催いたします。売り上げはすべてホームの運営費となります。子どもたちの幸せのためのバザーです。ぜひご来場ください。

- 日時/5月23日(火) 11時半～16時半 24日(水) 10時～16時半、25日(木) 10時～15時
- 場所/世田谷区民会館ホールロビー
- 問合せ/社会福祉法人青少年とともに歩む会
- TEL 3424・3313
- http://koi-setagaya.jp/

世 「もっと語ろう不登校 part 2 13」

これまで22年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかつたんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方もお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時/5月13日(土) 14時～

東 チャイルドライン公開講座2017

18才までの子どものための電話「チャイルドライン」の受け手を養成する研修の一環です。子どもの声を受けとめられる大人になるための講座で、子どもと直接関わってきた講師陣の生の声やワークを体験して、せたがやチャイルドラインの「聴く」を体感してみませんか。公開講座ですので、興味のある回だけでもご参加いただけます。

- 日時/6月2日(金) 7月15日(土)まで全9講座
- 金曜は19時～21時半の1コマ
- 土曜は13時～15時15分、15時半～17時45分の2コマ
- 内容/「ボランティアが支える

- 場所/人の泉・オープンスペース!
- 参加費/300円(カンパ歓迎)
- 交通/山下駅徒歩6分
- 問合せ/世田谷3分科会「もっと語ろう不登校」担当 佐藤

TEL 5300・5581

せたがやチャイルドライン「いじめと不登校」「思春期の性・男子の性」など、各回のテーマ・講師はホームページをご覧ください。

- 場所/世田谷ボランティアセンター
- 参加費/1講座2000円(学生半額)
- 定員/20名
- 申込み/メールまたはFAX
- 問合せ/せたがやチャイルドライン事務局
- TEL 5712・5101
- FAX 3410・3811
- childline@otagaysama.or.jp

東 傾聴ボランティア入門講座（全3回）

丁寧に傾聴に取り組む「傾聴ボランティア入門講座」です。この講座では、話すこと、聴くことを体験学習を通してグループで考え、感じながら学んでいきます。

あなたも、傾聴ボランティア活動の一步をあゆみはじめてみませんか。

●日時/5月31日、6月7日、6月14日
いずれも水曜日
13時半～16時

●場所/玉川ボランティアセンター

●交通/二子玉川駅徒歩5分

●参加費/全回分3000円

（1回目に集めます）

●定員/20名

●申込み・問合せ/玉川ボランティアセンター

TEL 3707・35288

TEL 3707・35288

tamabora@otagaisama.or.jp

小 気軽にボランティアの会 〜いつから?どう始める?地域デビュー〜

「自分にできるボランティアって?」「地域に仲間をつくりたい」先輩ボランティアさんの体験談を聞きながら、ご自分に合った活動やお仲間を、ここで一緒に探してみませんか? はじめの一步、まずは気軽にご参加ください。

●日時/7月1日(土) 13時半～16時
*13時15分受付開始

●場所/代田ボランティアビューロー2階(靴を脱いで上がる)

ゆうたん敷きのお部屋です。

●交通/世田谷代田駅前すぐ

●募集人数/8名

●条件/ボランティア・地域活動に関心のある方どなたでも。

●参加費/500円(資料代、茶菓代)

●申込み・問合せ/代田ボランティアビューロー

TEL 3419・4545

databora@otagaisama.or.jp

東 NPO・市民活動相談ご活用ください

ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団体

まで活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団体

助成

シニアボランティア活動助成

ビジネスパーソンボランティア活動助成

60歳以上のシニア層、ならびにビジネスパーソン(会社員、団体職員、公務員、経営者・個人事業主)の社会福祉に関するボランティア活動を支援することにより、ボランティア活動の振興と社会福祉の向上に寄与することを目的として実施するものです。

●活動テーマ/①高齢者福祉に関するボランティア活動、②障がい者福祉に関するボランティア活動、③こども(高校生まで)の健全な心を育てる交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの。

●助成金/1件原則10万円、特に内容が優れている場合は20万円限度で助成

●応募方法/当財団所定の申込書に必要事項を記入のうえ、郵送してください。

大阪府西区江戸堀1-2-1
大同生命大阪本社ビル内
※詳しくはホームページをご覧ください。

体問わず相談可能です。まずは電話でお問い合わせください。(相談無料、事前予約制)

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎

TEL 5712・5101

(月曜・祝日休館)

●問合せ/公益財団法人 大同生命厚生事業団 事務局
06・6447・7101
<http://www.daido-life-welfare.or.jp/index.htm>

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビルM1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13丸ビル2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

春のバザーシーズン到来! 14日(日)烏山バザー、25日(木)リサイクル市、6/2~3代田ビューローバザーです。梅丘では「失語症カフェ」が始まります。ぜひ参加してみませんか?

◆ふらっと&withより

メンバーさんの中にデジカメやスマホで写真を撮影する方がいらっしやいます。新緑の緑、空の青、雲の白といった色が鮮やかな季節となりました。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます!世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

世田谷美術館のショップで、チャイルドライン応援手作り品を販売させてもらっています。エリック・カール展におでかけの際はぜひショップにもお立ち寄りください。受け手養成講座の参加者も募集中!

編集後記

■今回は「新寺子屋」の取り組みを取り上げましたが、区内には他にも学習支援の活動がたくさんあります。子どもが歩いて行ける場所に、たくさん広がるといいなと思いました。また、ボラセンでは個人の方からの学習支援のご相談も受けています。サポートが必要な方はご相談ください。

■4月号の特集記事を読んで、さっそく2名の方が「ココ・カフェ」の運営サポーターに手をあげてくださったそうです。セボネがあなたのはじめの一步につながれば、うれしい限りです。

■先日、息子たちと水族館に行った帰りに、海辺で遊びました。たまにはボーッと海を眺める時間も大切ですね。(み)

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03・5712・5101
FAX 03・3410・3811

●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp

●ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
●発行人
興行 寛